

『島守弁ミニ事典』DVDに収録される 南部方言に関する研究 —— 名詞のアクセント ——

岩崎 真梨子[†]

Study on the nanbu dialect recorded in Shimamori-ben Mini-Jiten DVD —Noun accent—

Mariko IWASAKI[†]

ABSTRACT

Shimamori-ben Mini-Jiten recorded a dialect from the Shimamori district of Hachinohe City, Aomori Prefecture. This paper describes the Shimamori dialect in Chapter 1 of the dictionary in terms of parts of speech and accents. Accent patterns were identified by analyzing recorded voices reading the dialect on the DVD. The following points were clarified.

Most nouns had a rising pitch accent, with a few exceptions. For nouns with rising and falling pitch accents, only the very end of the word is usually pronounced high or low. In most cases where the accent is middle-high, the pitch is two or three moras before the end of the word. Additionally, more words rise after the third mora than on the second mora. Many nouns without high or low accents have long vowels at the end of the word.

Key Words: Aomori dialects, Dialect dictionary, DVD audio, Accent

キーワード: 青森県南部方言, 方言辞典, DVD音声, アクセント

1. はじめに

『島守弁ミニ事典』¹⁾は、2017年に島守地区自治会連合会より刊行された。総108ページ、4章から成る冊子である。章立ては、次の通りである。

第1章 島守弁事典

第2章 「島守」あれこれ

第3章 島守の「むかし」と「いま」の風景

第4章 島守に残る伝説・昔話・えんぶりのお囃子・盆踊り・くどき歌

第3章の章立てに「風景」が取り入れられている通り、カラー写真も掲載されている。地名の由来、地勢、歴史や名所、行事といった幅広い項目が挙げられている。

本稿では、『島守弁ミニ事典』の第1章に収録されている島守方言について、品詞とアクセントに関する記述を行う。

令和4年 1月 4日 受付

[†] 基礎教育研究センター・准教授

2. 島守弁ミニ事典に収録される方言

1節にも記した通り、『島守弁ミニ事典』（以下、省略してミニ事典と記す）の「第1章 島守弁ミニ事典」では、辞書の形をとって島守地区のことば（方言）を挙げている。ミニ事典のはじめに、5つの編集方針が記されている。

- 1、「島守弁」はゴシック体で表記し、原則としてアイウエオ順に収録した。
- 2、収録した「島守弁」については名詞、形容詞など文法上の表記をしていない。
- 3、同じ意味の「島守弁」は「、」で続けて収録した。
- 4、類語は「 」で収録。（ ）で意味を掲載した。
- 5、「島守弁」の使用例は「※」で収録した。

項目として挙げられているのは1502語である。方針3の方言も含めると、1821語が収録されている。4の類語は、今回は1語としてカウントしない。^[註1]

以下、ミニ事典の一部を引用する。空白や改行の箇所は適宜整えている。また、論文内では方言も明朝体で記す。

【ア】

アー うん
 アーカモド 同じ分家
 アーグド、アグド かかと
 アーコ、アイコ、アッコ 水
 アーセ そうざい。おかず
 アーセドー 相手
 ※「アーセドー セーナア」
 （相手になれない）
 アーデッコ 友達。話し相手
 ※「オガー アーデッコヲ セーエ」（あ
 なたが 話し相手を してよ）

「方言（1文字分の空白）共通語の意味」の順で記載されている。使用例は※で記され、共通

語の意味が（ ）内に示される。使用例は173項目において収録されている。記述はシンプルで、品詞など文法に関する記述はないため、学校文法に基づき品詞を分類した。非活用語の品詞分類と用例数は、次の通りである。

表 1 品詞分類—非活用語—

非活用語	
品詞	項目数
名詞	761
代名詞	1
人称代名詞	1
指示代名詞	1
連体詞	1
助動詞	2
副詞	70
接続詞	6
助詞	1
接辞	1
感動詞	26
合計	871

名詞が最も多い。助動詞は「ケロ（～シテケロ）」「（ダ）ゴッタ」で、いずれも活用しないものであった。続いて活用語の分類を挙げる。

表 2 品詞分類—活用語—

活用語	
品詞	項目数
動詞	331
動詞打ち消し	5
動詞命令	10
動詞過去	11
動詞テ形	2
動詞（複合動詞）	2
形容詞	110
形容詞テ形	1
形容動詞	28
合計	500

動詞が最も多い。打ち消し、命令、過去、テ形接続で挙げられているものもある。たとえば、次のような項目である。

- (1) 【命令】オジョーレ／オンジョーレ 席を
ずらせ。席をあける。(命令形)
- (2) 【過去】オドゲアータ 落雷した。「オド
ギャール」(落雷)
- (3) 【動詞テ形】ノベッテ 滑って
- (4) 【打ち消し】スラナー 知らない
- (5) 【形容詞テ形】オガスクテ おかしくて

(4)は、動詞+助動詞の組み合わせだが、命令
や過去など動詞の変化形として表2に入れる。

最後に、句と、「名詞+助詞」など複数の品
詞で構成される項目(その他)と、現状分類が
できなかった項目(不明)について挙げる。

表3 品詞分類—その他—

その他	
品詞	項目数
句	84
助詞が付いた形	13
不明	34
合計	131

収録されている方言は以下の通りである。

【句】

- (6) アーデンナー／アーデンナーガ 行ってみ
よう
- (7) アーバサイ 行きましょう
- (8) アーベ 行こう。「アーベデア」(行き
ましょう)の簡易表現

【助詞がついた形】

- (9) アッコーラサ あの辺に
- (10) コゴラーニ ここら辺に。この辺りに
- (11) ○○ダズーデバ そうらしいってば。そう
なんだそうだ。

【不明】

- (12) コシャーコー 恰好をつける
- (13) ズダー 人を見下げた時に言う言葉
※「オガァ ソッタゴドモ デギナーデ ズ

ダーダナァ」(あなたそんなことも出来ない
なんて大したことないな)

- (14) ダオロス 新しい ※「ダオロス ダァ
ホラ」(おニュー だよ ほら)

不明の34項目は、語や意味からある程度品詞
分類できそうだが、保留としている。^[註2] 島守地
区で聞き取り調査を行いたいと考えているが、
コロナウイルス感染拡大防止のため、調査がで
きない状況が続いている。状況が変わり次第、
調査したい。

3. 『島守弁ミニ事典』の名詞アクセント

『島守弁ミニ事典』には巻末に付属のDVDが
あり、音声保存にも取り組んでいる。DVDでは、
島守地区の風景にあわせて、第1章 島守弁ミニ
事典に収録されている方言の朗読音声流れる。
本稿では、その音声を分析する。今回は最も語
数の多い名詞のアクセントを分析する。

なお、各語は単独言い切りの形で録音されて
おり、助詞をつけた場合のアクセントは分析で
きていない。助詞をつけた場合を含めたアクセ
ントに関する分析は、今後の課題とする。

3.1 『島守弁ミニ事典』に収録される名詞

2節に挙げた通り、名詞は761項目、代名詞・人
称代名詞・指示代名詞各1語を入れて764項目(全
体の約半数)である。編集方針3の同じ意味を持
つ名詞、2節の(9)(10)に挙げたような名詞のあと
に助詞がつくものは除外した。

3.2 モーラ数

ミニ事典に収録されている方言のモーラ数
(拍に同じ)を挙げる。五十音図のそれぞれの
かな(濁・半濁音、拗音を含む)を1単位として、
長音、促音、撥音を加えたものである。

たとえば、「アーカモド(意味:同じ分家)
は5モーラ(5拍)、「アオジャー(意味:虻)」
は4モーラ(4拍)となる。

名詞のモーラ数は次の通りである。

表 4 名詞のモーラ数

モーラ数	語数
1 モーラ	3
2 モーラ	76
3 モーラ	226
4 モーラ	237
5 モーラ	129
6 モーラ	67
7 モーラ	24
8 モーラ	2
合計	764

4 モーラの語が最も多く、次いで 3 モーラが多い。9 モーラ以上の語は見られなかった。

今回のモーラのカウントは、基本的に文字表記にあわせた。このため、母音の小文字表記は拗音と同じ扱いとなる。DVDの音声に従い、長音として分析した語が2例ある。今後、小文字表記の母音については再検討が必要である。

4. 『島守弁ミニ事典』の名詞アクセント

アクセントは慣例に倣い、高く発音する拍を●、低く発音する拍を○で表記する。あるいは、音が高くなる箇所（上がり目）に〔、低くなる箇所（下がり目）に〕をつける。上がり目・下がり目のない語は「上昇・下降なし」と記述する。語例が多い場合は表にまとめる。

4.1 1 モーラ名詞

次の通りである。

(15) チャ、ドア、ワ

ドアは語内でわずかに下がり、ド]アのように聞こえる。2 モーラ名詞として分析したほうが良い可能性がある。また、ワは言い切りのあとでやや下がって聞こえる。こうした語については稿を改めて記述したい。

4.2 2 モーラ名詞

2 モーラ名詞のアクセントは、次の 3 パターンがある。

表 5 2 モーラの名詞アクセント

2 拍目上昇 ○●	40 語
2 拍目下降 ●○	30 語
上昇・下降なし	6 語
合計	76 語

上がり目を持つ名詞が最も多い。まず、2 拍目で上昇するアクセントの名詞を挙げる。

表 6 2 拍目で上昇する 2 モーラ名詞

ア[ネ ア[ラァ ガ[ジ ガ[リ ク[ソ ケ[ブ コ[ガ ゴ[ギ サ[ネ シ[ビ ジャ[ヤ ジャ[ル ス[カ ス[ガ	ス[ヨ チャ[マ ツ[ヅ ツ[ニ ヅ[ヂ テ[デ テ[ド デ[ー デ[ロ ド[ベ ナ[ジョ ナ[ス ニ[ヤ	ネ[マ ノ[ギ ノ[ノ ハ[ス バァ[コ バ[バ ヒ[ビ マ[ギ マ[マ マ[ヤ モ[ズ モ[ロ ユ[イ
---------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------

続いて、2 拍目で下降する名詞を挙げる。

表 7 2 拍目で下降する 2 モーラ名詞

ア]ヤ エ]ホ オ]バ カ]カ コ]ジャ ゴ]ディ サ]ズ ジ]ギ ス]タ ズ]ギ	セ]ゲ ダ]ダ ダ]ラ(※1) ダ]ラ(※2) ダ]ン チ]ギ ト]ナ ト]ス ネ]ダ ノ]バ	ハ]ゴ バ]バ へ]ラ ベ]ロ ホ]ズ マ]ゲ マ]デ モ]ゴ ユ]ガ ヨ]ガ
----------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------

※1 サイフ ※2 小銭、硬貨

最後に、上昇・下降のない名詞を挙げる。

(16) オガ、ジャー、スー、チャー、ダー、ミー

「オガ」以外は2語目が長音である。

4.3 3モーラ名詞

3モーラ名詞のアクセントは、以下の6パターンがある。

表 8 3モーラ名詞のアクセント

2拍目上昇 ○●●	4語
3拍目上昇 ○○●	107語
2拍目下降 ●○○	13語
3拍目下降 ●●○	45語
中高 ○●○	31語
上昇・下降なし	26語
合計	226語

2モーラ名詞と同様、上がり目を持つアクセントの語が多い。また、語末で上昇・下降する語が多い。

まず、2拍目で上昇する3モーラ名詞を挙げる。

- (17) 【2拍目上昇】ア[ーブ, シ[ヤグ, タ[ラー, ユ[ツコ

3拍目で上昇する名詞を挙げる。3モーラ名詞が3拍目で上昇するパターンは、名詞のアクセントのなかで最も語数が多かった。

表 9 3拍目で上昇する3モーラ名詞

アー[コ	カン[ナ	ツブ[ケ
アー[セ	ガー[ナ	ツマ[ゴ
アガ[ス	ガー[ロ	トショ[リ
アガ[メ	ガッ[カ	ナガ[ス
アギ[リ	キカ[ズ	ネン[ズ
アグ[ダァ	ケッ[ツ	ハー[ダ
アグ[バ	ケヤ[グ	ハギ[リ
アゴ[タ	ゲッ[カ	バン[ゲ
アサ[マ	コー[ガ	バン[コ
アジャ[リ	コン[ビ	ヒカ[ギ
アセ[ボ	ゴモ[ジ	フバン
アッ[チャ	ゴロ[タ	ブヅ[ヅ
アッ[パ	サガ[リ	ヘジャ[ゲ
アレア[ドァ	サシ[ン	ヘノ[ゴ
アワ[ー	サン[ト	ベー[ゴ

アン[ダ	ジェン[コ	ホー[ド
イキ[ミ	ジャス[ジ	マガ[ト
イタ[バ	ジャッ[パ	マジ[メ
ウン[ズ	ジャハ[ー	マダ[ギ
ウン[マ	スー[タ	ミン[ズ
エジャ[ル	スケ[ダ	ムス[パ
オガ[ダ	スバ[ヤ	メド[ツ
オジ[リ	ズサ[マ	モス[ロ
オソ[ベ	ズン[ズ	モド[メ
オナ[ゴ	ズン[ダ	モロ[ミ
オナ[メ	セー[ビ	ヤー[ス
オマ[ー	ソー[ズ	ヤガ[ラ
オモ[セ	ソッ[ツ	ヤス[ジ
オラ[ア(※3)	ター[ウェ	ヤッ[コ
オン[マ	タガ[ギ	ヨゴ[メ
カー[チョ	タジ[ニ	ヨッ[チヨ
カジ[ネ	タン[ナ	ヨン[マ
カッ[ケ	ダン[コ	リッ[コ
カマ[ド	チッ[ツ	リハ[ー
カマ[ド	ツケ[ギ	ワガ[ミ
カマ[リ	ツヅ[レ	

※3「オラァ」は、語末が「ア」とであると判断し3モーラ名詞に含めた。

続いて下がり目を持つ名詞を挙げる。2拍目で下降する名詞は、以下の通りである。

- (18) ア[ンコ, オ[ズゲ, サ[ブジ, ス[ブト, テ[ヅマ, ハ[ブヅ, ハ[ンタ, フ[ルデ, ヘ[スビ, ヘ[ナガ, ホ[ダレ, ユ[ムギ, ヨ[コジャ

3拍目で下降する名詞を挙げる。

表 10 3拍目で下降する3モーラ名詞

アン[ジョ	コン[ニャ	ノニ[ズ
イズ[ナ	ジャッ[コ	ハダ[ゲ
イヌ[ス	スガ[リ	バオ[リ
ウニ[リ	スッ[コ	ヘッ[ペ
オニ[ダ	スマ[ジ	ベッ[チヨ
オシ[ロ	スン[ベ	ホン[コ
オッ[コ	ズン[サ	ボニ[ズ
オッ[パ	ダニ[ヘ	ボッ[ポ
オッ[ホ	タブ[サ	マッ[カ

カ[<u>一</u>]コ	チ[<u>ツ</u>]チ	マン]マ
カ[<u>一</u>]チャ	チャ[<u>ツ</u>]プ	メメ]ズ
カス]ギ	チョ[<u>一</u>]ズ	モモ]タ
ガン]ベ	ツ[<u>ツ</u>]ツ	ヤオ]ズ
ケガ]ツ	テン]ギ	ヨマ]ギ
ゲフ]リ	ト[<u>一</u>]ミ	リン]チ

2 拍目に促音をとる名詞（網掛け）が 11 語、2 拍目に長音をとる名詞（下線）が 9 語ある。
続いて中高の名詞を挙げる。

表 11 中高の 3 モーラ名詞

アア[<u>一</u>]ニ	シ[シャ]グ	ハ[<u>一</u>]ギ
ア[ジャ]ゴ	シャ[グ]ス	ハ[ア]ス
ア[モ]ケ	ショ[<u>一</u>]リ	バ[グ]ル
エ[ヌ]ス	ジ[<u>一</u>]ル	マ[ジャ]ゴ
オ[ガ]ワ	ジュ[<u>一</u>]ラ	マ[ナ]グ
カ[<u>一</u>]ナ	ジャ[ケ]ツ	モ[ジョ]ス
カ[<u>一</u>]バ	ス[<u>一</u>]ル	ヤ[ド]コ
カ[<u>一</u>]リ	タ[<u>一</u>]ビ	ユ[ド]ノ
カ[ツ]カ	ダ[<u>一</u>]ゴ	ヨ[ジ]ム
キ[ビ]チョ	デ[ベ]チョ	
ク[サ]ダ	ナ[<u>一</u>]ス	

今回、ハアスは「ア」を拗音と数えると 2 拍の名詞だが、録音データから「ハ[一]ス」に同じと判断した。3 モーラの名詞が中高になる場合、「アア[一]ニ、カーコ、カーナ、カーバ」など 2 拍目が長音をとるもの（下線）が 13 語見られた。
上昇・下降のない名詞は、次の通りである。

表 12 上昇・下降のない 3 モーラ名詞

オンズ	スロマ	ビツツ
コツコ	タマナ	ヘツチョ
サツピ	タルヘ	ホスナ
シルマ	ダツツ	マアリ
シャドー	チスマ	モゴー
スフル	チッキ	ユンベ
スミス	ハスリ	ワスル
スラミ	ヒトメ	ワラス
スルス	ビッチ	

下がり目を持つ名詞や中高の名詞に比べると、特徴は見られない。

4.4 4 モーラ名詞

4 モーラ名詞のアクセントは、次の 11 パターンがある。

表 13 4 モーラ名詞のアクセント

2 拍目上昇	○●●●	1 語
3 拍目上昇	○○●●	16 語
4 拍目上昇	○○○●	104 語
2 拍目下降	●○●○	1 語
	●○○○	3 語
3 拍目下降	●●○○	9 語
4 拍目下降	●●●○	16 語
中高	○●○○	14 語
中高	○●●○	11 語
中高	○○●○	49 語
上昇・下降なし		13 語
合計		237 語

これまでと同様、上がり目を持つ名詞が多い。
語末（4 拍目）の上昇に偏る点も共通する。
2 拍目で上昇するのは、オ[ドガーのみである。
3 拍目で上昇する名詞は次の通りである。

- (19) アク[セン, アス[タラア, オラ[アホー,
カン[マー, ガン[ジョー, スー[リョー,
セツ[ツー, ツン[ノー, テノ[ゴー,
テン[ケー, ネン[ナー, ノス[トー,
ハグ[ラー, ハッ[トー, バン[ジョー,
メス[マー

アクセンを除くとすべて語末が母音になっている。
続いて 4 拍目で上昇する名詞を挙げる。

表 14 4 拍目で上昇する 4 モーラ名詞

ア[グ]ド	サーガ[ズ	ニヤズマ[ー
アオジャ[ー	サーバ[ン	スガビ[タ
アサク[サ	ササグ[レ	ネンズ[ン
アツゴ[ド	シツツ[ミ	ハズツ[コ
アツパ[ラ	シャベゴ[ド	ハダー[ス
アブリ[ゴ	ショーナ[ワ	ハッタ[ギ
アマジャ[ゲ	スクタ[レ	ハナオ[ド
アマチャ[ラ	スジモ[ノ	ハナガ[ミ

アメツ[コ アラゴ[ト アラマ[ス アラモ[ド アンズ[ジ アンバ[ラ イリビ[ト ウソタ[レ オゴラ[ミ オドド[ー オネガ[ー オンチャ[マ カーツ[ジ カーマ[ス カーラ[ジ カラグ[ヂ カラヤ[ジ カンカ[ラ カンジョ[ー カンダ[ー ガッカ[ラ キンタ[マ クズヨ[セ クセヤ[ミ ケイハ[グ ケラー[コ ゴトゴ[ト	スタフ[ジ スネカ[ラ スマー[コ スジャカ[ブ スマー[リ ズダー[ダ ズンジョ[ー セギド[ー セッコ[ブ セッチ[リ センダ[ク ソロー[デ タイホ[ー タメツ[ポ ツケモ[ノ ツラフ[ジ テデナ[ス テハジョ[ロ テマド[リ テンブ[ギ トノー[ズ ドービ[ギ ドット[ゴ ドンコ[ロ ナゲツ[ツ ナンヅ[ギ ニグル[ミ	ハラビ[コ ハラビ[リ ハルキ[パ ハンダ[ー ハンド[メ バガツ[コ バンカ[ダ フルス[ジ ヘンテ[ツ ベンチャ[ラ ベンプ[リ ボーサ[マ ボット[ー マーバ[ラ マドー[リ ママサ[ツ ミツバ[ダ ムガツ[ラ ムシュノ[ゴ メーヨ[ー メラー[ス モッチ[リ モメン[ヤ ヨコペ[ラ ラーネ[ン ワッチャ[ギ
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

続いて下がり目を持つ名詞を挙げる。2 拍目で下降する名詞は、2 通りに分かれる。

(20) ソー[ベ]ー

(21) コ]ガーコ, コ]スポネ, ズ]キンコ

(20)のソーベは小便を意味する。「ソー[ベ]ー」の可能性はある。

3 拍目で下降する名詞は、次の通りである。

(22) カード[ー, サック]リ, スッピ]ヂ,
ハンバ]ジ, ホー]ジョー, ホッパ]ラ,
ボンバ]ナ, ユーコ]ー, ユンマ]ギ

4 拍目で下降する名詞は、次の通りである。

(23) アバグ]ツ, エセツ]ポ, エンツ]コ, カッコ]ベ,
カンブ]キ, ケンピ]ギ, スマネ]ゴ, ズネガ]ネ,
ネッカ]ブ, ノロス]ケ, ハッカ]ゲ, ハッタ]ギ,
ハンズ]ジ, ハンダ]ガ, ヒラッ]コ, フンド]ー

続いて中高アクセントの名詞を挙げる。3 パターン見られる。

2 拍目のみ高い名詞は、次の 14 語である。

(24) オ[ソ]シー, ク[セ]モン, シ[ト]クセ,
シェ[ワ]ヤグ, ス[ズ]クセ, ス[マ]ッコ,
ス[ミ]スゴ, ス[ラ]スメ, ツ[ゴ]ノシ,
テ[ハ]ジョー, ナ[マ]ッコ, ハ[ズ]マジ,
ヒ[ズ]ツリ, マ[ゴ]サグ

シェワヤグは意味に「世話役」とあり名詞とした。

2 拍目と 3 拍目が高い名詞は、次の通りである。

(25) ア[ガベ]ー, ア[ネツ]コ, オ[ソ]ンコ,
オ[バイ]シ, オ[ボツ]コ, ガ[ッ]タン,
キ[カン]ボ, ス[マツ]コ, ツ[トン]ケ,
ツ[ラツ]ギ, ミ[ソッ]パ

3 拍目のみ高い名詞を挙げる。このパターンは、3 モーラ名詞が 3 拍目で上昇するパターンの次に語数が多い。

表 15 3 拍目のみ高い 4 モーラ名詞

オダ[マ]ッコ オド[ド]ス カー[モ]ズ カギ[ジョ]ウ カッ[チェ]バ ガー[ダ]ガ ガン[ガン], コー[オ]ゲ コー[ダ]ル コー[ノ]ゲ サー[セ]ン シュマ[モ]リ スナ[ゴ]グ	タッ[ツ]ブ タナ[ー]ゲ タノ[グル] ダー[ド]ゴ ダー[ブ]リ テア[ソ]ビ テッ[ク]ビ テマ[ー]リ ドン[ジョ]ウ ナー[ド]ゴ ハカ[ド]コ ハツ[ケ]ル バグ[ロ]ウ	ヘッ[ツ]イ ベン[ケ]イ ホー[ペ]ダ ホド[ツ]ポ ボヤ[ー]コ マー[カ]ゲ ミソ[コ]ガ メク[サ]レ メッ[ツ]ロ モー[ス]ジ ヤー[ク]ト ヤー[ヅ]リ ヤク[タ]ス
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

スマ[モ]リ ソノ[ジャ]マ ター[モ]デ タチ[ハ]ー	フケ[サ]ミ ブン[ド]ウ ヘダ[マ]ル	ヤン[ド]ゴ ライ[サ]マ ロク[シャ]ク
---------------------------------------	----------------------------	-----------------------------

上昇・下降のない名詞は、次の通りである。

- (26) アックビ, カスカレ, カッカベ, カプカー,
ガンドー, ジョンマー, ソンダー, ターゴ
ー, ダードー, ツボマー, ハヅナー, ボッ
チャー, メッコー

2 モーラの名詞と同様で、語末が長音になって
いるものが多い。

4.5 5 モーラ名詞

5 モーラ名詞のアクセントは、以下の 12 パタ
ーンがある。

表 16 5モーラ名詞のアクセント

4 拍目上昇 ○○○●●	3 語
5 拍目上昇 ○○○○●	46 語
3 拍目下降 ●●○○○	5 語
4 拍目下降 ●●●○○	5 語
5 拍目下降 ●●●●○	2 語
中高 ○●○○○	3 語
中高 ○●●○○	4 語
中高 ○●●●○	3 語
中高 ○○●○○	3 語
中高 ○○●●○	22 語
中高 ○○○●○	28 語
上昇・下降なし	5 語
合計	129 語

5 モーラ名詞では、中高アクセントのバリエー
ションが豊富である。

まず、上がり目を持つ名詞を挙げる。

- (27) 【4 拍目上昇】アーセ[ドー, オドー[ミョー,
オラー[ドアー
(28) 【5 拍目上昇】アーデッ[コ, アーマッ[コ,
アンバー[コ, イズナツ[ジ, イットジ[マ,
イモノハ[ナ, カサビッ[タ, カバカダ[レ,

カラアソ[ビ, カラネゴ[ト, カンナガ[ラ,
ガーロノ[ゴ, ガベワラ[ス, キンモク[ソ,
クサレモ[ノ, サジノバン, サッコア[ゲ,
サラーネ[ン, ショッパジ[メ, シリーダ[ヅ,
ズマンタ[レ, ソツツパ[ラ, ソバハッ[ト,
ターラッ[コ, タガラモ[ノ, チドコロ[ネ,
チョットジ[マ, ツツパサ[ミ, デメント[リ,
トッテナ[ゲ, ナスアガ[リ, ハータダ[ジ,
ハシポロ[ー, ハスタッ[コ, ハドーノ[テ,
ハナシチョ[ゲ, ハナミン[ズ, ビッタッ[コ,
フルマー[コ, フンドー[ス, ホドモヂ[ー,
マブリッ[コ, マンマタ[ギ, モースツ[ケ,
ヤッコー[バ, ユワーダ[テ

網掛けで示した通り、5 拍目で上昇する 5 モ
ーラ名詞は、語の終わりが「ッコ」「ーコ」の
形になるものが散見される。ただし、「ス[マ]ッ
コ」「ナ[マ]ッコ」といった例外もある。^[註3]
いずれにせよ、促音や長音といったいわゆる特
殊拍を含む名詞については、別途検討する必要
がある。

また、イモノハナ（片栗粉）、ガーロノゴ
（おたまじゃくし）、サジノバン（一昨夜）は、
「イモの花」「蛙（ガーロ。ゲーロとも）の
子」「先の晩」である可能性が高く、格助詞
「の」を含むと考えたほうが良い。こうした格
助詞を含む単語も、別途検討する。

続いて、下がり目を持つ名詞を挙げる。

- (29) 【3 拍目下降】ウン]マレエ, ベン]ジョガミ,
マー]アサマ, マー]スモノ, ヨゴ]コンビ
(30) 【4 拍目下降】アーカ]モド, アイカ]マド,
アジメ]グラ, チョース]ゴロ, ホガー]ドー
(31) 【5 拍目下降】ハヤマー]リ, ヨゴナゴ]リ

中高の名詞を挙げる。6 パターン見られる。

- (32) 【中高○●○○○】
ア[カ]ビッコ, ア[ガ]ビッキ, カ[ナ]ズース,
ヒ[ノ]アダマ
(33) 【中高○●●○○】

ア[ガタ]グレ, シ[トツ]トロ, ツ[トツ]ドゴ,
ワ[ガー]モノ

(34) 【中高○●●●○】

ア[メダツ]ツ, ダ[ンマツ]コ, マ[ズグラ]ー

(35) 【中高○○●○○】

アー[ド]ース, ダラ[ブ]グロ, チズ[チ]スネ

(36) 【中高○○●●○】

イガ[タガ]リ, ウン[ズム]シ, オン[ナー]ドア,
カー[ペッ]コ, カギ[ジョッ]コ, シン[バグ]ラ,
ステ[デン]ギ, スン[ダン]ゴ, テン[ノー]リ,
テン[ブグ]ロ, トー[デアッ]コ, トー[ドッ]コ,
ネゴ[カブ]リ, ネス[ジャダ]ー, ノド[スツ]コ,
ハリ[カー]ゴ, バガ[ズン]ケ, バガ[タグ]レ,
マツ[カッ]チャ, モー[リッ]コ, ヨン[バー]ト

(37) 【中高○○○●○】 アサダ[ヤ]マ,

アジグ[ラ]イ, アスア[ゲ]ク, アドー[ジャ]リ,
エズク[サ]レ, カンダ[ー]ゴ, ゴギナ[マ]ス,
シカリ[ッ]コ, ジンナ[ー]コ, スズマ[ー]タ,
タバゴ[ー]リ, チリマ[ー]ス, ツジア[ガ]リ,
テッカ[ー]ス, ヒトカ[ダ]ジ, フグラ[バ]シ,
へーノ[メ]ス, ホスダ[ー]ゴ, ホンズ[ヌ]ゲ,
ボンノ[ー]コ, マナグ[オ]ロ, ミソダ[ー]ゴ,
メッチャ[ガ]リ, ヤガネ[ッ]コ, ヤマガ[ー]リ,
ヤンド[ー]ト, ヤンマ[ー]ト, ユクタ[ガ]リ

5 モーラ名詞が中高のアクセントになる場合、
上がり目が後ろ寄りにくる名詞のほうが、語数
が多い。「○○○●○」の場合、長音を高く発
音する語が 12 語ある。3 モーラ名詞でも、中高
で長音を高く発音するパターンが見られたこと
から、中高アクセントは長音で高く発音しやす
い可能性が高い。

最後に、上昇・下降のない名詞を挙げる。

(38) アスズガー, カボチャガー, ケモジャラー,
シリーマー, ワガゴデー

語末が長音をとる。2 拍、4 拍の名詞にも見ら
れる特徴である。

4.6 6 モーラ名詞

6 モーラ名詞のアクセントは、以下の 9 パター
ンがある。

表 17 6 モーラ名詞のアクセント

3 拍目上昇	○○●○○●	1 語
5 拍目上昇	○○○○●●	8 語
6 拍目上昇	○○○○○●	23 語
3 拍目下降	●●○○○○	2 語
6 拍目下降	●●●●●○	2 語
中高	○○●●○○	2 語
中高	○○○●●○	15 語
中高	○○○○●○	8 語
上昇・下降なし		6 語
合計		67 語

まず、上がり目を持つ名詞を挙げる。

(39) 【3 拍目上昇】 アッ[チャ]コッ[チャ]

読み手がアッチャ・コッチャと区切って読ん
だ可能性が高い。用例は「アッ[チャコッ]チャ
ウゴ[グナ]デア」となっており、中高の可能性が
高いと思われる。

(40) 【5 拍目上昇】

アツツム[ガー], クサダフ[トン],
コレヤー[ドー], シンバリ[ボー],
タガーバ[ガー], ヌスミク[ラー],
ハギリッ[コー], ユムギモ[ズー]

(41) 【6 拍目上昇】

アズジター[ロ], アッタダモ[ノ],
アラレダン[ゴ], イラナーゴ[ト],
オナゴワラ[ス], オボッコナ[ス],
カサピター[レ], カミシバー[ヤ],
カンノンサ[マ], コゴジョーサ[ン],
コスゲッタ[レ], ゴンボーホ[リ],
サガサミン[ズ], ソッタラゴ[ド],
ツージタガ[リ], テンジャガサ[マ],
トードコサ[マ], トモハスラ[ギ],
ハーダウン[マ], ハスノタモ[ド],

ヘッチョダン[ゴ, ベッタラフ[リ,
ムスクサー[レ

下がり目を持つ名詞を挙げる。

(42) 【3 拍目下降】

ダー]ドーバダ, マー]バングー

(43) 【6 拍目下降】

アッタダモノ]ア, コンニョウボ]ー

中高の名詞を挙げる。5 モーラの名詞に比べて
パターンが少ない。

(44) 【中高○○●●○○】

スネ[カン]ズリ, ハラ[ゴス]ラア

(45) 【中高○○○●●○】

エドゴ[ハド]ゴ, オシロ[コン]ド,
カグレ[ホン]コ, サギオ[ドド]ス,
スジダ[ドー]ス, スンガ[リバ]ズ,
ツツツ[ペー]ゴ, テスリ[コッ]パ,
テンガ[ラッ]コ, テンコ[ーバ]ダ,
ハシラ[ガラ]ミ, フグロ[パダ]ジ,
ホドゲ[マブ]リ, ヤッカ[ダス]ケ,
ユガベ[ドウ]フ

(46) 【中高○○○○●○】

アダリホ[ド]リ, カマツツ[ポ]ウ,
ジャッパズ[ー]ル, ネンズマ[ー]ス,
ハマツペ[モ]ノ, ホドゲオ[ガ]ミ,
メッコー[メ]ス, ワラツツ[ト]コ

最後に、上昇・下降のない名詞を挙げる。

(47) アデズッポー, エスジンジョー, カラヘン
トー, クズァーパス, ナガバードア, ハ
スタデナー

語末が長音あるいは母音である。2、4、5 モー
ラの名詞にも同様の特徴が見られる。

4.7 7モーラ名詞

7 モーラ名詞のアクセントは、以下の 10 パタ
ーンがある。

表 18 7モーラ名詞のアクセント

5 拍目上昇	○○○○●●●	2 語
7 拍目上昇	○○○○○○●	4 語
7 拍目下降	●●●●●○	1 語
中高	○○○●○○●	1 語
中高	○○○●●●○	2 語
中高	○○○●●○○	3 語
中高	○○○○●●○	7 語
中高	○○○○●○○	1 語
中高	○○○○○●○	2 語
上昇・下降なし		1 語
合計		24 語

まず、上がり目を持つ名詞を挙げる。

(48) 【5 拍目上昇】

アガメ[アガリー, ガンジョー[ウッコ

(49) 【7 拍目上昇】

エダズラボウ[ズ, ガンジョウオン]マ
サムライカマ[ド, メグラメッポ[ウ

下がり目を持つ名詞は、以下の 1 語である。

(50) 【7 拍目下降】ビンボウタガ]リ

中高の名詞を挙げる。5 モーラ名詞と同じく 6
パターン見られる。ただし、以下のパターンに
ついては再調査が必要と考える。

(51) 【中高○○○●○●●】エーノ[モ]ノア[ドァ

「エーノモノ（家の者）」と複数形を表す
「ド（ドァ）」が分かれ、このような発音にな
った可能性がある。(39)のアッチャコッチャのよ
うに、文中では違うアクセントになる可能性も
あると考えられる。

(52) 【中高○○○●●●○】

ウシロ[コンズ]ジ, ヤッカ[デァーガ]ミ

(53) 【中高○○○●●○○】

スヌジョ[ーッ]パリ, タマスポ[ーロ]ジ,
ヒッツ[メァ]ナー

(54) 【中高○○○○●●○】

サーガズ[カマ]ス, デングリ[ゲァー]コ,
デンチン[バス]ラ, ナベッコ[ダン]ゴ,
ハンジョー[ハダ]ゲ, ミッタグ[ナー]ス,
ヤーノア[サツ]テ

(55) 【中高○○○○●○○】 ショースッ[パ]ズレ

(56) 【中高○○○○○●○】 モジャーポー[ナ]ス

上昇や下降のない名詞は、以下の1語である。

(57) ムガスカダラー

語末が長音になるという特徴が他のモーラの名詞と共通している。

4.8 8モーラ名詞

8モーラ名詞のアクセントは、以下の3パターンがある。

表 19 8モーラ名詞のアクセント

中高	○○○○●●○○	1語
中高	○○○○○●●○	1語
合計		2語

それぞれ次の通りである。

(58) 【中高○○○○●●○○】

オソスラ[ナー]フリ

(59) 【中高○○○○○●●○】

オダマズン[ジョー]コ

用例数が少ないため、他にもパターンがある可能性があると考えられる。

5. まとめと考察

以上の通り、モーラ数ごとにミニ事典に収録される名詞のアクセントを取り上げた。

全体にいえろ特徴は次の通りである。

- ・ 上がり目を持つ名詞の数が多い。(ただし5モーラ名詞と7モーラ名詞は中高が多い)
- ・ 上がり目を持つ名詞のなかでも、語末のみ上昇する名詞が最も多い。
- ・ 下がり目を持つ名詞でも、語末のみ下降する名詞が最も多い。
- ・ 中高のアクセントは、ピッチが語末の2、3拍前にあるものが多い。
- ・ 中高のアクセントは、2拍目で上昇するものより、3拍目以降で上昇する語のほうが多い。
- ・ 上昇・下降のない名詞は、語末が長音表記のものが多い。上昇・下降のない名詞の半数近く(57語中28語、49%)が長音である。

続いて、モーラ数ごとに見られる特徴を挙げる。

- ・ 最も語数が多いのは、3モーラ名詞の「3拍目(語末)で上昇するパターン」である。
- ・ 続いて多いのは、4モーラ名詞の「4拍目(語末)で上昇するパターン」である。
- ・ 3モーラの名詞において、3拍目で下降するアクセントと中高のアクセントでは、長音が下がり目・上がり目になるものが多く見られるという特徴がある。3拍目で下降するアクセントにおいて長音の方言が9語(45語中、20%)、中高アクセントにおける長音の方言が13語(31語中、42%)である。
- ・ 3モーラ名詞において、3拍目で下降するアクセントでは、下がり目が促音になる方言が11語(45語中、24%)見られる。
- ・ 5モーラ名詞においても、中高の「○○○●○」のパターンで高く発音する箇所に長音がくる例が顕著に見られる(28語中12語)。
- ・ 中高のアクセントのパターンは、モーラ数が多いほど多くなるはずである。しかし実際は、5モーラ名詞6パターン、6モーラ名詞3パターン、7モーラ名詞6パターンで、6モーラのみパターンが少なかった。

島守地区のアクセントでは、長音や促音とい

ったいわゆる特殊拍の前後、特に長音の前後に上がり目や下がり目が見られやすいという特徴がある。

上昇・下降のない名詞の語末が長音であるという特徴は、長音のあとに上がり目や下がり目がきやすいが故に、語末が長音である語には上がり目や下がり目がきにくいという結果になるのではないかと考える。

最後に、参照した先行研究を取り上げる。

森下(1996)²⁾では、東北方言のアクセントを記述している。これによると、青森県のアクセントは年齢が下がるに従って共通語化している。ミニ事典においても、共通語と同じ形の語ならびに共通語の音変化形とみられる語は、おおむね共通語と同じアクセントになりそうである。以下に例を挙げる。なお、共通語のアクセントについて、『NHK日本語発音アクセント新辞典』³⁾に記載がある語は参照した。

ク[ソ 便。糞。
シ[ビ ひび。あかぎれ
ジャ[ル ざる
ス[ヨ 塩
ナ[ジョ なぞ
ナ[ス 梨

これらは共通語と同じアクセントである。

菅沼・岩崎(2021)⁴⁾では、八戸市鮫町での方言調査、特に名詞のアクセントについて報告している。本稿では、菅沼・岩崎(2021)で指摘するような規則は記述できていないが、アクセントの型は鮫町でも島守地区でも同様のパターンが見られる可能性が高い。一方で、鮫町の調査結果では頭高型のほうが多く見られるが、島守地区のミニ事典では上がり目を持つ名詞が多く見られるといった違いもある。また、鮫町調査では「ヨガ(夜に現れる蚊)」を無核か尾高のいずれかと予想しているが、ミニ事典では「ヨガ(大きな蚊)」を「●○」と頭高で発音していた。両者が同じ蚊を指すかどうか、検討が必要だが、地域ごとに違うアクセントを持つ語がある場合もありそうである。

6. おわりに

以上の通り、『島守弁ミニ事典』に収録される名詞のアクセントの特徴を示した。特に、上がり目を持つ語のほうが下がり目を持つ語よりも多いこと、語末で上昇・下降が起きる語が多いということが明らかになった。また、上昇・下降のない名詞も存在するが、その場合は語末が長音(母音)になるものが約半数と多かった。

行研究にも指摘がある通り、共通語と同じ語形をとるものは、共通語と同じアクセントになるものが多そうだが、これについては詳細な分析をする必要がある。

今後は、名詞のアクセントについて、共通語との関連や、規則性の考察を行うとともに、他の品詞についても記述を進めたい。

APPENDIX

[注 1]ミニ事典で類語とされているものは、派生語や活用形に近いためである。たとえば「アンズジ(小豆)」には、「アンズジダンゴ(お汁粉)」「アンズジマンマ(赤飯)」「アンズジバット(小豆を入れて煮込んだうどん)」が挙げられている。また、「エヌグ(動く)」の類語は命令形の「エヌゲ(動け)」となっている。

[注 2]それぞれ下記のように考えるが、さらに検討が必要である。

(12)「コシャーコー」は「こしゃく」からきているのではないと思われる。

(13)「ズダー」は用例からみて形容動詞と思われる。

(14)「ダオロス」は意味からみて形容詞だが、用例を見ると形容動詞のようである。以上のように、それぞれ考察して分類することが可能なものがほとんどだが、できれば島守地区で用例を得てから考察したいと考えている。

[注 3]「スマッコ」は「隅っこ」、「ナマッコ」

は「調子もの。ふざけた奴」と意味が記述されている。「ベコッコ」のように「ッコ」を接辞的とする語ではなく、共通語の「隅っこ」「生意気などのナマ」と同じアクセントをとっている可能性があるのではないかと。

謝 辞

『島守弁ミニ事典』の分析にあたって、資料や情報を提供いただいた島守地区の皆さま、ならびにコロナ禍で動きの取れない筆者に代わって方言の録音・録画をしてくださった八戸工業大学 星野保教授、ならびに星野研究室の学生諸子に感謝いたします。

本研究は、八戸工業大学「しまもりSDGs実践プロジェクト」の助成を受けています。

We would like to thank Editage (www.editage.com) for English language editing.

参考文献

- 1) 中村悟志：島守弁ミニ事典, 島守地区自治会連合会 会長 堰端治, 2017.
- 2) 森下喜一：東北方言アクセントの研究, おうふう, 1996.
- 3) NHK 放送文化研究所編: NHK 日本語発音アクセント新辞典, 2016.
- 4) 菅沼健太郎・岩崎真梨子：八戸市方言の名詞アクセントに関する調査報告, 青森県八戸市方言調査報告書 日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成 方言の記録と継承による地域文化の再構築, 国立国語研究所, 2021

要 旨

『島守弁ミニ事典』には、青森県八戸市にある島守地区の方言が収録されている。本稿では、事典の第1章に収録されている島守方言について、品詞とアクセントに関する記述を行った。DVDに収録された方言の読み上げ音声を分析し、アクセントのパターンを記した。以下のことが明らかになった。

上がり目を持つ名詞は、一部の例外を除いて、最も数が多い。また、上がり目と下がり目を持つ名詞では、語末のみ高くあるいは低く発音するものが最も多い。アクセントが中高になる場合、ピッチが語末の2、3拍前にあるものが多い。また、2拍目で上昇するものより、3拍目以降で上昇する語のほうが多い。上昇・下降のない名詞は、語末が長音表記のものが多い。

キーワード：青森県南部方言，方言辞典，DVD音声，アクセント